

学校法人日本工業大学

Magazine 2023



特別
企画

SPECIAL INTERVIEW

竹内貞雄学長

常設
案内

C a n d o み ら い 募 金

発行元 | 学校法人日本工業大学 学園事務局

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5 / TEL:03-3511-7590 / FAX:03-3511-7595
MAIL:bokin@nit.ac.jp / <https://scfo.nit.jp/>

好奇心と積極性、そして自信を持った 社会で高い評価を得られる人材を育成するために

日本工業大学では、このたび **本学史上初の「卒業生の学長」**が誕生しました。

本学の卒業生であり、長年母校で教鞭を執るとともに、**学生支援部長**としても大きな成果を上げてきた竹内新学長。

これからどんな大学をめざしていくのか、その胸の内をうかがいます。



— 竹内学長は、日本工業大学のご出身ですね。

1978年に機械工学科を卒業して一度就職した後、1980年に現在の先端材料技術研究センターの前身である材料試験センターに着任しました。1998年に文部科学省の私立大学ハイテク・リサーチ・センター整備事業に採択され、2008年までの10年間ハイテクセンターにおける研究活動(スーパーカーボン)の形成と応用に従事しつつ、学位も取得することができました。

2008年から機械工学科の教員として現在まで学生の指導をしてきました。学生時代を含め、私をここまで育ててくれたのは日本工業大学です。

— 初めての「卒業生の学長」としての思いは、どのようなものですか？

母校で学長を務めるのは、責任重大です。少子高齢化の世の中、またコロナ禍で社会が激変する中で学生を募集し育てていくためには、従来のような方法では通用しません。これから先、大学をどのように改革していくのか、今まで以上にOB・OGの皆さんも注目されるでしょう。卒業生の名誉にかけて、こうした取り組みに注力していく所存です。

— これまで学生支援部長として力を入れてきたのはどんなことですか？

大学としては、学生が社会に出る時のことをしっかり考えていかなければなり

ません。私は長年、学生支援部長として学生の就職に関わり、企業に対する本学のPRや学生への啓もう活動、保護者の意識改革など、さまざまな取り組みを行ってきました。

例えば、学内で行う「業界業種セミナー」という主要な企業300社ほどをどのお招きする就職支援行事では、本学の特徴を企業の担当者にお話し、希望する方には研究室や工房の見学もしていただきました。見学された方に「こういうことをやっているんですね」と驚かれることもあり、企業に本学の理解を深めてもらうことには、それなりの成果があったのではないかと思います。

— 学生や保護者に対しては、どのような活動を行ったのですか？

3年生になった学生に対して「就職支援ガイダンス」を開催し、社会に出た先輩たちの動向などを伝えました。保護者に対しては、ご自身が就職した時代の子どものアドバイスするのではなく、現況を知ってもらうことに重点をおいた「保護者のためのガイダンス」を開催しました。同時に、大学院進学が就職に関わる実態などをふまえて、「大学院進学のための相談会」なども始めました。

— 2023年度には、外部から高い評価を受けましたね。

実は2016年にも、本学は日経キャリアで「創造力のある卒業生を輩出している」という部門で極めて高く評価されています。

2023年の日経キャリアでは、「すぐれた研究に取り組む大学」の全国私大で1位、「就職支援に熱心に取り組む大学」の全国私大で4位など、本学の取り組みを多方面から認めていただき、ランクインすることができました。この評価は、入学した学生をしっかり教育できる大学であることを社会が認めた証でもあり、本学の強みです。このような本学の強みを入試広報に活かして、受験者の増大に繋げていきたいですね。

— 「本学の強み」を、もう少し詳しく教えてください。

いろいろありますが、まず広い敷地と

充実した施設があること。また、1年生の時から専門科目があり、学生が授業を楽しんでいると感じられるカリキュラムを組んでいること。特に4年生の卒業研究では、学生が自分専用の机で活動できる広い卒研生の居室を提供しているのが他大にない特徴です。このような環境があって、学生たちが研究室の仲間と協力しながら研究がすすめられるわけです。

現在、本学の学生は、工業科の出身が3割、普通科出身が7割という構成です。得意分野が異なる彼らが補完し合う研究活動は、知的生産活動の向上に役立つとともに、「教わることで問題が解決できる喜び」、「教えたことで感謝される喜び」。このような成功体験を身につけられることが、日工大の大きな強みであると、私は考えています。

— 学生の研究成果も認められ、多数表彰されています。

実験を重視する本学の研究室では、教員の指導にも熱が入ります。なぜなら、学生が取ったデータをもとに教員は投稿論文を作成するからで、指導に手を抜けません。研究室では、教師・学生という関係ではなく、共同研究者として扱うため、学生達はしっかり成長していきます。学会で表彰されるのは、彼らが熱心に研究し、発表スキルを磨き、バックグラウンドまで勉強した証です。どこに行っても通用する、非常に優秀な学生たちだと思います。

— クラブ活動も活発に行われていますね。

キャンパス内には、400メートルトラックや専用の野球場を始め、広い敷地を活かした多数の運動施設があります。クラブ活動は、他学年、他学科の学生との交流の場でもあり、コミュニケーション力を育て、人間力を上げる機会になります。4年間で、新入生から後輩の面倒を見る先輩として、そしてクラブの運営を行う主将や主務として、社会人が20年程度で体験することをわずか4年間で疑似的に体験することができます。このような学業とは異なる能力・資質を伸ばせるのがクラブ活動のメリットです。

— 卒業後の学生の将来像をどのように考えていますか？

これから社会に出る学生たちは、常に新しいことを学ぶ姿勢が求められるでしょう。好奇心と積極性、それに自信を持った人材が、社会で高い評価を得られることになるはず。そうした資質のベースを作るのが、大学の使命ではないでしょうか。そのためには学生には、大学時代に研究活動やクラブ活動などを通して、成功体験を培ってほしいのです。今、本学では、「学生を成長させる力で、選ばれる大学へ」というキャッチフレーズを掲げています。これから私はもっと大学の魅力を外部にも発信し、日工大のさらなる発展をめざしたいと考えています。



TOPICS 価値ある大学 就職力ランキング2023-2024

- 「すぐれた研究に取り組む大学」部門で **全国の私大で1位(全国19位)**
- 「就職支援に熱心に取り組む大学」部門で **全国の私大で4位(全国7位)**



学生受賞者

2023

2023 International Symposium on Nonlinear theory and Its Applicationsで「NOLTA2023 Student Paper Award」を受賞



木村研究室 / 稲葉 賢駿
電子情報メディア工学専攻博士前期課程 1年

稲葉さんのコメント

この賞の受賞は木村先生と松浦先生、研究室の先輩方のご指導があったからこそ受賞できたものだと思っています。今回の受賞を励みとし、今後も研究に進んでいます。

International Conference on Applied Electrical and Mechanical Engineering 2023「ベストペーパーアワード」を受賞

浦川研究室 / 普天間 光星
機械システム工学専攻 2年

普天間さんのコメント

国際学会で英語が大変でしたが、ESLCで英語の発表のアドバイスをいただき、浦川禎之教授のご指導のもと賞を取ることができました。これからも研究活動に励んでいきます。



日本塑性加工学会 塑性加工春季講演会で「優秀論文奨励賞」を受賞



瀧澤研究室 / 波多野 洩也
機械システム工学専攻博士前期課程 2年

波多野さんのコメント

指導教員をはじめ、ともに研究に励んできた研究室の仲間にも深く感謝申し上げます。賞を取ったことに慢心せず、これからもより一層の努力を続け、社会の役に立つ技術者を目指します。

雷撃音によるシイタケ発生促進のメカニズムを解明した研究で、「学生優秀発表賞」を受賞

平栗研究室 / 尾釜 遼
電子情報メディア工学専攻博士前期課程 2年

尾釜さんのコメント

指導していただいた平栗教授、清水准教授、学外の先生方に感謝しています。この受賞を糧に一層研究に励み、多くの研究成果を出せるよう精進していきたいです。



学校法人日本工業大学

みらい募金 趣意書

Can do みらい募金

みらい募金が叶える、ミライのNIT。募金の使途は4つの事業。



1 The Future of NIT PROJECT

奨学金の制度・拡充

成績優秀者に給付される奨学金制度としてES奨学金(エクセレント・スチューデント年額50万円)、RS奨学金(リマーカーブル・スチューデント年額20万円)があります。今年度はES奨学金36名、RS奨学金75名が各学部より選ばれました。また、将来を見据えた「資格等取得奨励金制度」において70名の学生が奨励金を獲得しました。今後も学生の勉学に対する意識の向上や経済的援助のため奨学金事業を遂行してまいります。

1 The Future of NIT PROJECT

奨学金の制度・拡充

時間と精神面の 余裕を生む奨学金に感謝

建築学部建築学科 生活環境デザインコース3年 長山和奏さん

ES奨学金を2年続けていただくことができました。この奨学金は、年額50万円が学費に充当されます。私は、別途貸与型の奨学金を受けており、将来返済する必要がありますが、ES奨学金のおかげでアルバイトを減らすことができ、精神的な余裕も生まれました。これだけ施設が充実した大学で、学費の援助を受けて学べることに、大変感謝しています。卒業後は大学での学びを活かした仕事に就き、今度は私が支援する側に立ちたいです。



4 The Future of NIT PROJECT

その他各事業の推進

1~3以外の使途をご指定される場合、あるいは特段のご指定はなく、学園全体を応援いただける方は、こちらからご寄附をお願いいたします。使途のご指定は備考欄にご記入ください。できる限り、ご意思に沿って活用させていただきます。

4 The Future of NIT PROJECT

その他各事業

健康的な生活と 学習意欲につながる100円朝食

基幹工学部電気電子通信工学科2年 山崎良太さん

大学の近くで一人暮らしをしており、1限の授業がある日を中心に100円朝食を利用しています。100円朝食は、おいしくて栄養バランスがよく、充実したメニューが低価格でいただけるので、とても助かっています。きちんと朝食をとると規則正しい生活ができ、健康的な体作りにも役立つと感じます。そして、学習もがんばろうという気持ちになります。OB・OGの方々の寄付は本当にありがたく、私も将来は後輩のために寄付をしたいと思っています。



4 The Future of NIT PROJECT

その他各事業

NIT 100円朝食

学生の健康と幸せのために始まった「100円朝食」は、みなさまのご支援のおかげもあり、昨年度6,000食を超える提供ができました。朝食をしっかり摂ることで生活リズムが安定し、特に下宿している学生のご家族から大変喜ばれている事業です。今後も学生の健康面を考え継続してまいりますので引き続き暖かいご支援をお願いいたします。



※NIT100円朝食へのご寄附は「その他の事業」をお選びください。

特設サイトはこちら



2 The Future of NIT PROJECT

施設・設備の拡充

学生が安全で充実した大学生活を送れるように、教育面、環境面の施設・設備の拡充に活用しています。昨年度は女子学生が快適に過ごせるようパウダールームをリニューアルしました。明るくきれいな空間で多くの学生が利用しています。研究や実験で夜遅くなくても安心して過ごせる快適な環境を実現しています。



3 The Future of NIT PROJECT

教育・研究の推進

昨今、学校に求められる教育の内容も大きく変化しています。思考力、判断力、行動力といった幅広い能力の涵養が求められる中、ICT教育やアクティブラーニングの深化に向けた環境整備を推進いたします。また、学生に研究成果を対外的に発表する機会を提供することや、SDGs活動を支援するために「みらい募金」を活用しています。

学校法人日本工業大学 募金のお願い

REQUEST for FUNDRAISING

みらい募金は、学校法人 日本工業大学が重点的に取り組む「奨学金の制度・拡充」「施設・設備の拡充」「教育・研究の推進」「その他各事業の推進」の4事業の中から、寄附者の皆さまに寄附金の使い道をご指定いただける募金制度です。新たな100年をつくり育むため、皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

募集金額：1口1万円 / 1口以上 ※1万円以下の寄附金も謹んで頂戴いたします

寄附項目：奨学金事業、施設・設備拡充事業、教育・研究推進事業、その他の事業

発送時期：お申し込みいただいた方から順次

活用用途：本誌掲載事業へ充たさせていただきます

GIFT 1

〈ご寄附いただいた皆さまへの返礼品〉



SLペーパークラフトと 工業技術博物館の特別招待券

GIFT 2

〈3万円以上ご寄附いただいた方への返礼品〉



東武動物公園 「アトラクションパスセット」(ペア)



みらい募金 お申し込み方法

How to Apply

個人の皆様へ

インターネットからのご寄附について

学校法人日本工業大学への寄附は、インターネットからのお申込みが便利です。下記記載のご利用が可能です。【みらい募金サイト】<https://nitmb.jp>



振込用紙によるご寄附について

添付の寄附申込書兼払込取扱票を使用し、全国のゆうちょ銀行(郵便局)にてお手続きください。

法人の皆様へ

本学園に対するご寄附は、一般寄附金の損金算入限度額と別枠で当該事業年度の損金に算入することができます。損金算入にあたっては2つの制度があります。

1 特別公益増進法人に対する寄附金 (寄附金を一定の限度額まで損金算入できる)

2 受配者指定寄附金 (寄附金の全額を損金に算入できる)

※受配者指定寄附金は、日本私立学校振興・共済事業団が寄附金を受け入れ、寄附者が指定した学校法人に寄附金を配布する制度です。

学園全体へのご寄附

使途を特定せず大学にご一任いただける場合は「学園全体へのご寄附」をお選びください。



インターネット・コンビニ・ゆうちょ銀行、どこからでもお支払いいただけます。

※振込手数料は学校法人日本工業大学が負担いたしますが、ゆうちょ銀行では、2022年1月17日(月)より、窓口・ATMにて「現金で払込を行う場合」は、110円の料金が寄附者様に加算されるようになりましたので、ご注意ください(口座からの支払い)を選択すれば、加算料金はかかりません。詳細につきましては、ゆうちょ銀行のホームページをご参照ください。※領収書は税務署の届に必要となりますので、大切に保管願います。

【お申し込みの詳細は学園ホームページ、または学園事務局へお問い合わせください】 <https://scfo.nit.jp/> TEL:03-3511-7590

税控除の詳細はこちらからご確認ください





**1年の履修でMOT修士を取得
ビジネスを加速する実学・実践**

日本工業大学専門職大学院は、中堅・中小企業の経営にフォーカスした、学びの総合拠点です。社会人のリスキリングに注目が集まり、ますます実践的な教育の価値が重視されるなか、実際の業務に役立つ独自のカリキュラムを発信。技術系企業のみならず、IT・情報サービス、大手企業、政府系機関のビジネスパーソンをも引きつける濃密なネットワークを形成しています。大学、大学院を通じて実践的な技術者人材を輩出している日本工業大学の総仕上げともいえる学びの場として、卓越した技術を、製品を、そして経営手法を、強力に発信していきます。



**修了生と企業の連携を推進する
中小企業イノベーションセンター**

本専門職大学院修了生などのビジネスイノベーションを支援する組織です。とくに、修了生の多様性を活かした修了生相互の連携による新技術・新製品の開発や新事業・新業態の創造、コンサルティング能力向上等のエコシステム形成に関する支援事業を行なっています。

●日本工業大学の学部卒業生には入学金が半額となる優遇があります。

日本工業大学専門職大学院

検索



中小企業イノベーションセンター

検索



NIT

information

**在学生・機械工学科3年生 伊丹彰吾君が工業技術博物館の精密模型を作成！
本校舎1階入口に展示しています。**

実物の1/150サイズで制作されたこの模型は、18cm×30cmと非常にコンパクトな作品の中に、駅舎、蒸気機関車や風景が精密に再現されています。蒸気機関車はわずか6.3cm。作業を行う人物まで登場しています。鉄道車両保存サークルに所属する伊丹君には第2弾、第3弾を期待しています！



「2109号蒸気機関車運転準備風景」

寄贈日 2023年2月16日



NIT NEWS

学校法人日本工業大学の施設・施策をご紹介します。最新情報をご覧ください。

NEWS TOPICS

赤倉山荘のご利用案内

赤倉山荘は2017年12月に改修工事を行いました。学園が保有する研修施設ですが日本工業大学、駒場高校・中学校の卒業生の方々もご利用いただけます。

電子リーフレットは
こちら



お申し込みは
こちら



NEWS TOPICS

SNSのご紹介

学校法人日本工業大学ではYouTube、Instagram、Xにて学内の情報を配信しています。ぜひフォローをよろしくお願いいたします。

